

城山地域ビジョン

10年後の将来像

“ホツとするまち しろやま”



平成 27 年 8 月

城山地区コミュニティ協議会

城山地域ビジョン策定委員会

目次

1. 地域ビジョンの基本的な考え方	1
2. 地域ビジョンの柱について	2
3. 10年後の将来像	3
4. 地域ビジョンの4つの柱	
(1) 安全・安心・教育	4
(2) 健康・福祉	6
(3) 地域コミュニティ	8
(4) 観光・地域産業	10
5. 地域ビジョンの実現に向けて	13

資料編

1. 城山地区の概要	14
2. 地域ビジョンアンケート	16
3. 地域ビジョン策定委員会の体制・検討経過等について	
(1) 地域ビジョン策定委員会の検討経過	18
(2) 地域ビジョン策定実施要領	19
(3) 地域ビジョン策定委員会及び作業部会名簿	20

※城山地区シンボルマークについて

裏表紙にあるシンボルマークは、平成11年に公募した作品の中から最優秀に選ばれた、駒生町の辻 猛司さんの作品です。

山：多気山・古賀志山・戸室山（城山三山）→熱意・誠意・創意の伸びる所

城：多気城址→大谷石の石垣 堅固な街

川：姿川→豊かな大地・・・・・・をイメージしています。



城山地区シンボルマーク

城山地域ビジョン

発行年月 平成27年8月

発行者 城山地区コミュニティ協議会
(城山地域ビジョン策定委員会)

事務局:城山地区市民センター内

☎028-652-4794

城山地区ホームページ <http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>

印刷所 下野印刷株式会社

1. 地域ビジョンの基本的な考え方

● 策定の目的 ●

城山地区では、人口減少・少子高齢化が進んでいます。このままでは地域の活力低下が懸念され、私たちの暮らしにもさまざまな影響を及ぼすことが予想されます。

また、城山地区の統計データ(うつのみや市政研究センター)による診断結果からも

- ① 地理的に広くて多様な地域である。
- ② 高齢化が進んでいるが、地域によっては若年層も多く、地域差がある。
- ③ 地域への愛着や定住意識が高い人が多い。
- ④ 観光の要素は充実しているが、それを補完する飲食業などが不足している。
- ⑤ 生活利便性が低い。

多くの魅力を持っている地区のはずなのに、それがうまく生かされていないと分析されています。

このような現状の中「子どもから高齢者まで心豊かに安心して暮らせるまちにしたい」「これからもずっと住みたい、良さを残したい」「将来、子供たちが誇れるまちにしたい」などの住民の想いをみんなで実現するため、長期的なまちづくりの指針として『城山地域ビジョン』を策定します。

● 地域ビジョンの位置づけ ●

自分たちのまちは自分たちで作る「住民主体」(但し、行政との協働を含む)を基本として「5年後・10年後の城山地区のあるべき姿」将来像を実現するための指針とします。

2. 地域ビジョンの柱について

城山地域ビジョン策定に当たっては、地域住民の理解と総意を得ることが極めて大切であることから、全住民に対しアンケート調査を行いました。その調査結果や目的団体等の意見を参考にし、以下の<地域ビジョン4つの柱>を選定しました。そして柱ごとに城山地区の現状、課題を把握して目標を設定、これらをさらに全体の目指すべき「5年後・10年後の城山地区のあるべき姿」将来像につなぎます。

● 地域ビジョン4つの柱 ●

- 安全・安心・教育 ⇒ 防犯防災、交通、教育、健全育成などを含む。
- 健康・福祉 ⇒ スポーツ、医療福祉、高齢化、子育てなど含む。
- 地域コミュニティ ⇒ 住民活動、地域情報などを含む。
- 観光・地域産業 ⇒ イベント、歴史文化、自然環境を含む。

